

平成23年 第8回(12月)志免町議会定例会一般質問通告書

通 告 順

番号	質問者	質問時間	件 名	要 旨	具 体 的 質 問 内 容	質問の相手
1	末 藤 省 三	30分	1. 子ども手当について。	(1) 子ども手当の制度改正でどのように影響するのか。	①制度改正にともなう子ども手当削減世帯、増税世帯への影響は。 ②子ども手当についての直接徴収が可能になるが、どのようにされるのか。 ③児童手当に戻ると町の負担はいくらになり対策はどうか。	町 長
			2. 医療について。	(1)医療関係について。	①子ども医療費を18才まで古賀市にならんで無料化せよ。 ②妊婦健康診査の実施継続。 ③子宮頸がん等ワクチン接種の継続。	町 長
			3. 国保について。	(1)国保の広域化でなにをもたらすか。	①広域連合になるとどのようになるのか。 ②広域化で住民の健康は守れるのか。 ③早期発見、早期治療の継続はどのように変わるのか。 ④国保への一般会計からの繰入禁止で負担(加入者)はどうか。 ⑤国保危機の根本問題をどう考えるか。	町 長
			4. 介護について。	(1) 改定介護保険はどのように変わるか。	①介護予防、日常生活支援、総合事業の創設でどう変わるのか。 ②24時間対応の定期巡回訪問による介護、看護サービスの創設でどうなる。 ③介護職員の医療行為については。 ④介護療養病床の廃止に(6年間延長)ともなう対策は。 ⑤地域密着型サービスはどのようになるのか。(包括支援センター)	町 長
2	二宮美津代	30分	1. スクールソーシャルワーカー活用事業。	(1) 事業の成果と課題、配置形態の改善。	①スクールソーシャルワーカー配置の形態について。 i 幼児・児童生徒の問題行動(不登校・いじめ・非行・児童虐待)には、それぞれの家庭環境、問題背景が複雑に絡んでおり、対応が大変だと聞くところです。 問題を抱える子どもたち、保護者への支援体制は十分ですか。	町 長 教 育 長
			2. 公共施設の活用状況。	(1) 施設の効果的活用、活用状況調査、全体的な見直しの検討。	①各施設が有効に利用されているか(住民目線で使い勝手、利便性を考慮すべき) 例)・ふれあいセンター2階の各スペース。 ・生涯学習1号館ゆとりの部屋とシーメイトにじいろポケット。 ・生涯学習2号館歴史資料室。 ・役場1階町政図書室。など。	町 長 教 育 長
			3. 医療費の削減。	(1)国保加入者へ後発薬の価格差を通知。 (2)糖尿病予防と啓発。	①現在国保医療費の負担割合が通知されている。先発医薬品と後発医薬品との薬剤費差額を同じハガキで通知する。 負担額がどれ位違うか、知っていただく取り組み。 ①高額な医療費となる疾患の一つに糖尿病が全体の4割を占め、長期化から人工透析に至り、医療費が増となっているとの報道もあります。 透析回避への手立てを(クレアチニン=尿中排泄物検査で自分の腎臓の状況を知っておく取り組み。)	町 長
3	吉 田 大 作	30分	1. 雨水タンクについて。	(1)普及・推進について。	①何故できないのか。 i 過去、先輩議員も提案されている。全国的なエコ取り組みの流れと思う。	町 長
			2. 町有地について。	(1) 町有地の把握・活用・見直し。	①普通財産の現状をどう思うか。 ②活用の方法、施策の考えは。 ③今後の見直し。	町 長

4	丸山真智子	30分	<p>1. 文化財・伝統文化の保存と活用併せて産業の支援で人と地域がにぎあうまちづくりについて。 (第5次志免町総合計画より)</p> <p>2. 町民のために意欲的に働ける役場の職場環境について。</p> <p>3. 消費電力削減について。</p>	<p>(1) 町の貴重な文化財、きちんと保存・整理・公開して産業の支援と併せて町の活性化につなげたい。</p> <p>(1) 係長の交代が続き、デリケートな問題だが気になるので質問します。</p> <p>(1) 防犯灯・街路灯のLED化を推進し、消費電力の削減に努めるべきではないのか。</p>	<p>①町の歴史資料、文化財等の収蔵状況について。 ②老朽化した文化財収蔵庫に置かれた歴史資料物はあまりのお粗末さに泣いているのでは。これでは町民のふるさと意識は高まりません。 ③堅坑櫓については整備・保存計画(平成23年度～24年度)が予算額約1,084万円(国の補助額542万円)で策定中だが保存管理だけの内容なのか、活用についても入るのか。活用も含まれるのなら町民の意見はどのように反映されるのか。 ④堅坑櫓を中心に据え、官民協働で粕屋地区の物産展を行い産業の振興がはかれないのか。町民に対してもPRにつながり、購買意欲につながると思う。将来は物産館をつくらうか。 ⑤文化財もきちんと整理して、堅坑櫓周辺に集め公開できないのか。できれば歴史資料館をつくり、物産館(コーナー)と一体となって町の活性化につなげたらうか。</p> <p>①職員のメンタルヘルス対策はどうなっているのか。 ②職員の交代で町民に影響がでないようにどのような対策をとっているのか。そもそも、休職しなくても済むような職場環境にならないのか。 ③職員が心身ともに健康で働くことが町民のためにもなるのではないのか。</p> <p>①東日本大震災後、節電意識が高まっている。役場はどのように取り組んだのか。どのような結果が出ているのか。 ②例えば、街路灯・防犯灯をLEDに切り替えると消費電力が削減され、電気料金も安くなる。予定はあるのか。規程の見直しはされないのか。 ③原発を減らして(なくす)には、新エネルギーの活用と節電の継続が必要。志免町としての方向性はどうか。</p>	町長 教育長
5	助村千代子	30分	<p>1. 認知症予防。</p> <p>2. いのちを守るための政策を。</p>	<p>(1) 認知症の要因を、早期発見予防や対策で認知症の予防を。</p> <p>(1) がん検診について。</p>	<p>①聴力検査の導入を。 認知症を引き起こす、原因の一つである老人性難聴の早期発見に聴力検査の導入を。 ②骨粗しょう症検診の年齢設定は適正なのか。 骨粗しょう症検診は現在5歳刻みで40歳から70歳まで行われているが、60歳から70歳までの5歳刻みの間隔は短くすべきでは。</p> <p>①大腸がん検診。 今年度から実施されている大腸がん無料検診クーポンの効果は。 働いている人が受けやすい郵送検診の考えは。 ②胃がん検診。 胃がんリスク検診としてピロリ菌検診の導入を ③男性特有の前立腺がん検診の導入を。 ④子宮頸がん検診。 細胞診、HPV検査の併用検診で子宮頸がんのリスクも軽減でき、検診の受診間隔も決めることができる。 (毎年受診か、3年に1回の受診か等) 子宮頸がん予防ワクチンの今後は。</p>	町長
6	堤久美子	30分	<p>1. 行政機構改革を。 (「誰もが元気に輝く、住みよいまち」を築くために)</p>	<p>(1) シーメイトを福祉ゾーンにして地域包括ケアシステム実現を。(介護・医療・予防・住まい・生活支援)</p>	<p>①介護保険法等一部改正に伴って「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取り組みが必須です。 i 志免町では14年から「志免町地域ケア会議設置要綱」が定められ地域ケアの庶務は福祉課において処理すると思いますが、その会議はどこで、年何回開かれているのか。 ii これまで協議されてきたことで。 ・医師会からの問題点は。 ・介護サービス機関からの問題点は。 ・予防に対する取組みと問題点は。</p>	町長

				<ul style="list-style-type: none"> ・住まいに対する状況把握と問題点は。 ・生活支援（見守り・配食・成年後見人等）の取組みと問題点は。 <p>iii 新たな法改正の下、地域包括ケアシステムづくりをどうされるのか。</p> <p>可能な限り、居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮しなければならない。（志免町は日本で始めて夜間巡回型介護サービスの実験をした町です）</p> <p>iv 各自治体に地域包括支援センターを設置することからも関係各課の連携が必要だと思うが、どのように組織編制していかれるのか。シーメイトを福祉ゾーンとして福祉課・健康課・社会福祉協議会等関係担当係りか課を配置すべきではないか。（モデルとした近隣市町村は、福祉施設に課を配置）</p> <p>v 補助事業である宅老所の利用実人数と補助金額は。補助事業から自主事業（コミュニティビジネス）に移行できないか。</p> <p>不平等感があるという住民の声がある。</p>		
			(2) ふれあいセンターを教育ゾーンに。	<p>① 3階の教育委員会・学校教育課・社会教育課等をふれあいセンターに配置すれば、生涯学習の向上と子ども教育に対する地域教育力の費用対効果は今より効率が良いと思う。本年度から新学習指導要領が全面実施になりこのことも踏まえ、ふれあいセンターを教育ゾーンに機構改革できないか。</p> <p>i 不登校の生徒数は。</p> <p>ii 新学習指導要領は何が重要視されているのか。外国人との交流の場づくりは必要ないのか。</p> <p>iii 子どもたちの地域教育を充実させるには、図書館の活用で生涯学習の充実。生涯学習推進委員を活用した人材育成によるコミュニケーション能力の育成＝生きる力が身に付くのではないか。</p>	町 長 教 育 長	
			(3) 社会教育課（町民センター）文化歴史ゾーンに。	<p>① 国の重要文化財を有しながら、歴史資料館等有効活用されていない。歴史について学んでいる方々を認定して登録し、協働事業としてガイドボランティアができてまちは活性するはずですが町長のお考えは。</p>	町 長	
			(4) 地域交流課（生涯学習センター）はコミュニティゾーンに。	<p>① 地域交流課の主な事務内容についてコミュニティ、住民との協働事業（花づくり事業も）の推進に力を注ぐ係りの配置。</p>	町 長	
			(5) 副町長を中心に政策プロジェクトチームを。	<p>① 若い副町長を招聘した。今地方のことは地方でという分権時代、それぞれの自治体が県・市は国から、町村は県から要職に招いて対応するようになりました。本町も全員賛成で受け入れたのですから、若い心ある職員を政策の面等でプロジェクトを立ち上げ、活力ある職場を設けて欲しいと切望していますが、町長のお考えと副町長の想いを述べていただきたい。</p>	町 長 副 町 長	
7	牛房良嗣	30分	<p>1. 国保税の収納改善は緊急課題。</p> <p>2. 町税不納欠損激減について。</p> <p>3. 組織の改正。</p>	<p>(1) 入るべきものが入らない。平成22年度国保税未収額6億1千4百万円（徴収率現年度86.2%、滞納繰越含む58.6%）</p> <p>(1) 不納欠損額実績。20、21、22年度の実績。</p> <p>(1) 高齢者支援課。（仮称）</p>	<p>① これ以上の悪化をくいとめるための方策は、次に改善への対策はあるのか。</p> <p>i 21年度～23年度収納率改善の対策と成果。</p> <p>ii 原因は何か。</p> <p>iii 収納特別対策室の強化の必要性。</p> <p>① 時効中断の決断。</p> <p>i 時効中断の決定とフォローについて。</p> <p>ii 収納特別対策室の現状（人数、他）今後の課題は。</p> <p>① 51事業施策が各課へバラバラ、一課へ集約、窓口の一本化によりタテ割り行政の解消。</p>	町 長 町 長 町 長

			4. 接遇、特に窓口サービスの更なる向上。	(2) 税務課の強化。 (3) 副町長の権限、決済を明確にする。 (1) 町民への明るい元気な挨拶から町づくりも諸改革もスタートする。	① 収納特別対策室を強化し、町税、国保税にターゲットをしぼり、改善向上にあたる。 ① 決済のスピードをあげる。 現状の役場組織では部制度は屋上屋となり、かえって事務を混乱させる。副町長、課長への権限移譲分をふやすことで対応は十分。 ① 引き続き、副町長の朝の各課への巡回コールの実践をお願いしたい。和顔施。一笑一若。	副町長
8	安河内信宏	30分	1. 町有地の有効活用について。	(1) 旧不燃物最終処分場（有価物選別場）の今後の活用について。	① 宇美町と共同で宇美・志免リサイクルセンター（エコル）が竣工して、随分時間がたったが、選別場の建物の解体もされず、今後どのように活用されるのか。	町長
9	古庄信一郎	30分	1. 福岡県市町村災害共済基金組合の解散問題について。 2. 歴史資料室と全庁舎機能の再検討について。	(1) 解散の真意について (2) 解散での影響について (1) 歴史資料室の位置づけとあり方について (2) 組織変更に伴う全庁舎機能の精査と再検討を	① 組合設立の目的と歴史は。 ② 解散決定までの経過と真意について。 ③ 納付金と返還金について。 ④ 志免町の基金借入れの実態は。 ⑤ 今後のスケジュール、動向について。 ① 大災害時の財政的対応はどうなるのか。 ② 自治体間の相互扶助、連携に逆行するのでは。 ③ 解散ではなく他の有効活用策を検討すべきでは。 ④ 利活用を含め志免町の基金への考え方。 ① 現歴史資料室の実態について。 ② 歴史資料室とは。 ③ 志免保育園舎を活用しては。 ① 組織変更と庁舎機能の矛盾。 ② 全庁舎機能の精査と検討機関の設置を。	町長 町長 教育長